



KONICA MINOLTA

News Release

業界初・マルチタッチモニタ対応の医療用画像オールインワンシステム 「REGIUS Unitea-i (レジウス ユニティア アイ)」新発売

2011年4月27日

コニカミノルタエムジー株式会社(本社:東京都日野市、社長:児玉 篤、以下 コニカミノルタ)は、CRコンソール/ビューワ/ファイリング機能を一体化した医療用画像オールインワンシステム「REGIUS Unitea-i(レジウス ユニティア アイ)」を2011年5月より発売いたします。

【商品名】 **REGIUS Unitea-i**
製造販売承認番号 21900BZX00854000

【発売日】 **2011年5月(予定)**

【標準価格】 **1,280,000円(税別)**

【主な特長】

- ・ 大画面マルチタッチモニタに対応
- ・ タッチ操作で拡大縮小、階調変更
- ・ 多様な画像データの取り込みが可能



現在、医療分野のIT化が厚生労働省によって強力に推進されており、クリニック(診療所)においても、今以上に急速にIT化が進むものと予想されます。コニカミノルタは、1999年のデジタルX線画像読み取り装置(Computed Radiography、以下CR)「REGIUS model150」発売以来、医療画像診断の分野で医療分野のIT化に貢献してまいりました。

2007年には、医療用画像オールインワンシステム「REGIUS Unitea」を発売し、シンプルな操作性と最適な診断画像で高い評価を受けています。この製品は、CRとネットワークし、画像表示に加えてファイリング機能をもつことにより、検査前から検査後の画像保存・管理までの一連の機能を統合することができ、医療業務の効率化に役立ちます。また、操作ボタンの位置の統一など、作業の確実性や使い易さにも優れていることから、2007年度グッドデザイン賞を受賞しています。

今回発売する「REGIUS Unitea-i」は、REGIUS Uniteaの機能を備えながら、よりシンプルな操作性を実現しました。キーボードやマウス操作以外に、スマートフォンでは一般的となっているマルチタッチ操作にも対応しており、画像の拡大縮小や階調変更などを2本の指を使って直感的に行えます。タッチ方式には赤外線光学イメージング方式を採用しており、指またはタッチペンなどでの書き込みも可能です。

また、CR画像だけでなく、超音波装置や内視鏡装置などの各種診断機器の画像をはじめデジタルカメラやスキャナからの画像も取り込むことができ、レセプトコンピュータや電子カルテシステムからの患者基本情報オンライン取得にも対応(オプション)しています。



コニカミノルタは、今後も医用画像分野において最先端の技術を投入し、質の高い製品・サービス・ソリューションを通じてお客様への新たな価値のご提供に取り組んで参ります。

The essentials of imaging

【 医療用画像オールインワンシステム「REGIUS Unitea-i」の仕様 】

接続モダリティ	C R、内視鏡装置、超音波装置、デジカメ他
クライアントの拡張性	最大 3 台まで接続可能
画像ハードディスク容量	250GB
表示モニタ	19inch/21inch/24inch カラーモニタ 23inch マルチタッチモニタより選択

- ここに記載の内容、仕様および外観は都合により予告なしに変更する場合があります。
- ここに記載の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

【 お客様のお問い合わせ先 】

コニカミノルタヘルスケア株式会社 TEL. 042-589-1439

【 ホームページ 】

ヘルスケア製品ホームページ : <http://konicaminolta.jp/healthcare/index.html>

報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタホールディングス株式会社 広報グループ TEL. 03-6250-2100 FAX.03-3218-1368
--